

「総ぐるみ」新聞

NPO 総ぐるみ福祉の会

所在地：「京急ニュータウン」バス停 徒歩2分

住所 横浜市港南区日限山4-39-10日限山ハイツ101号室
電話 045-846-8850 FAX045-370-7272

毎週2回開催。年間延べ約二七〇〇人が利用

「日限山荘」と書いて「ひぎりやまそう」と呼びます（「ひぎりさんそう」ではありません）。

NPO 総ぐるみ福祉の会では、ここ「日限山荘」で、毎週火・金の両日に手作りの美味しい昼食を楽しみながら歓談する「集いの場」を開いています。

場所は 日限山四一七一の桑田さん宅の2階（地図ご参照）。桑田さんのご厚意で2階全室をお借りし、港南区や日本財団の助成を得て全面

的に改装したスペース。毎回約三〇人ほどの地域の高齢者の皆さんが参加され、利用者の総数は年間延べ二六八七人（昨年度の実績）に達しています。

オープンしたのは13年前の平成16年6月。最初の活動は皆さんが集まっておしゃべりを楽しむことでしたが、地域のボランティアの方々による手作り昼食の提供を始めたところ「家庭料理の味が楽しめる」と評判を呼び、今では昼食会を中心に、健康作り体操や手芸、茶話会、マッサージ体験など様々な企画を実践しています。

日限山荘の活動は、主として地域のボランティアの皆さんの手によって運営されています。いずれも料理自慢とあって「レストランとはひと味違った美味しい家庭料理が楽しめる」「毎週火金の昼食は日限山荘でと決めています」など参加者の皆さんの評判も上々。参加費は1回300円。面白いのは「作る人」からも参加費をいただいていること。「作る人も食べるから」という理由だそうですが、作った料理を自分で食べる。これが美味しさの秘密でしょうか。

ご存じですか？「日限山荘」



「1人よりみんなで食べる方が美味しいわね」



日限山荘の活動には「こうなんふれあい助成金」と「県共同募金会」の助成をいただいています

NPO 総ぐるみ福祉の会のホームページ <http://sougurumi.jp> をぜひご覧ください。当会の事業内容や諸活動の実施例のほか、「総ぐるみ」新聞のほぼすべてのバックナンバーをお読みになれます。

「介護予防」のための「日限山ハイツ活動（こぶし）」がスタート

前号でお知らせしたNPO総ぐるみ福祉の会の事務所1階の「たまり場」活動が横浜市の介護予防・日常生活支援総合事業（略称＝総合事業）の一環として正式に認められ、会ではその活動を「こぶし」と名付けて一層の拡充を計画しています

本紙でたびたびお伝えしたように、介護保険制度が大きく変わり、従来の要支援1と2の方を対象とする介護予防訪問介護と通所介護（デイサービス）が介護保険サービスから除外されることになりました。

横浜市では、それに対応する事業として「介護予防・日常生活支援総合事業（略称＝総合事業）」を打ち出し、その活動を行う団体に対して、費用の一部を援助するとしています。

市の補助金交付が決まる

NPO総ぐるみ福祉の会は、こうした新しい介護の時代に対応するため、事務所1階の「たまり場」活動を全面的に拡大・見直しをはかり、新たに「日限山ハイツ活動（愛称＝こぶし）」と名付けて積極的に展開することとし、横浜市に補助事業申請を行いました。その結果、地域ケアプラ



ザや社会福祉協議会などのご支援もあり、このほど正式に横浜市より補助金交付の決定通知を受けました。

「こぶし」の具体的な活動

従来の「たまり場」から「こぶし」へ変わる結果として、事務所1階のスペースは「常時支援者の皆さんが参加することのできる地域の居場所」と規定され、「介護予防に資するプログラム」を実践する場所となります。そのため、NPO総ぐるみ福祉の会では、

布施信義理事が中心となり、介護予防プログラムの策定を急いでいます。

それによりまずと、金曜日と日曜日を除き毎日開催。従来の「手芸」「男の料理」「Cafe総ぐるみ」「パソコン勉強会」などに加えて、「健康麻雀」「椅子に座ってできる体操教室」「脳トレプログラミング」「フラダンス」「俳句教室」「お菓

子作り」「コーラス」「お昼のラジオ体操」などいろいろ検討中ですが、これらについて布施理事は次のように語っています。

企画の策定や講師としての参加も期待

「横浜市の総合事業のねらいは、高齢になっても、住み慣れた地域で自ら健康づくり・介護予防に取り組み、生活に支援が必要な場合にはNPOなどの支援も受けながら、その人らしい自立した暮らしができる地域を作っていくことです。

NPO総ぐるみ福祉の会は「日限山荘」や「たまり場」活動などの実績があり、住み慣れた地域で自立した暮らしの実現のお手伝いには自信があります。

また総合事業では、高齢者自身も担い手となることで、高齢者の社会参加が促進されることを期待する、とも書かれています。そこでお願いですが、特技をお持ちの方、多彩な趣味をお持ちの方、『こぶし』を舞台に、企画の策定や講師として、ぜひ参加していただませんか」。